

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 中国財務局長

【提出日】 平成24年11月14日

【四半期会計期間】 第74期第2四半期(自平成24年7月1日至平成24年9月30日)

【会社名】 林兼産業株式会社

【英訳名】 Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 熊山 忠和

【本店の所在の場所】 山口県下関市大和町二丁目4番8号

【電話番号】 下関(083)266-0214

【事務連絡者氏名】 管理本部 経理部長 宮崎 一郎

【最寄りの連絡場所】 山口県下関市大和町二丁目4番8号

【電話番号】 下関(083)266-0214

【事務連絡者氏名】 管理本部 経理部長 宮崎 一郎

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第73期 第2四半期 連結累計期間	第74期 第2四半期 連結累計期間	第73期
会計期間	自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
売上高 (千円)	24,684,401	22,722,292	48,314,746
経常利益 (千円)	205,917	398,738	560,425
四半期純利益又は当期純損失() (千円)	128,769	403,343	894,630
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	224,236	249,854	777,619
純資産額 (千円)	5,099,335	4,335,250	4,097,444
総資産額 (千円)	29,432,293	29,039,196	27,218,174
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり当期純損失金額() (円)	1.45	4.53	10.05
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	15.7	13.2	13.2
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	57,945	63,198	2,458,220
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	204,491	467,511	516,028
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	522,490	275,161	1,038,409
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	2,105,860	2,494,009	2,749,880

回次	第73期 第2四半期 連結会計期間	第74期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	1.11	3.26

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、第73期第2四半期連結累計期間及び第74期第2四半期連結累計期間は潜在株式が存在しないため、第73期は1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社に異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災後の復興需要が景気を底上げするものの、欧州債務危機に端を発する世界景気の減速などの影響から、回復の動きに足踏みが見られました。食品業界におきましても、景気の停滞感を反映して個人消費が低調に推移するなど、厳しい経営環境が続きました。

このような状況のなか当社グループは、本年4月からの2カ年を経営体質強化の基盤づくりの期間とし、新たに「2カ年経営計画」をスタートさせました。この新たな経営計画のもと、経営資源の選択と集中により構造改革を進め、収益基盤の改善と持続的な事業発展を目指しております。

経営計画に基づき、当社は本年6月をもって、不採算が続いていた下関飼料工場での畜産用飼料の製造を中止いたしました。今後は、養魚用飼料の製造販売に経営資源を集中させることで、飼料事業の収益体制の再構築に取り組んでまいります。

また、当社が新たに進めておりますハラール食品事業につきましては、マレーシアに設立した合弁会社において、ハラール認証を受けたソーセージの販売を開始いたしました。当社が長年培ってきた常温流通可能な魚肉ソーセージの製造技術を活かし、マレーシアおよび世界各国のイスラム圏のハラール食品市場に事業展開してまいります。

当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、肉類の販売数量の減少や畜産用飼料の自社生産を中止した影響により227億22百万円（前年同期比7.9%減少）となりました。損益面におきましては、飼料事業の収益が改善したことや、固定費の削減に努めたことなどにより、営業利益3億88百万円（前年同期比92.9%増加）、経常利益3億98百万円（前年同期比93.6%増加）となりました。四半期純利益は受取賠償金70百万円の計上などにより4億3百万円（前年同期比213.2%増加）となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメントの業績は、次のとおりです。

水産食品事業

魚肉ねり製品におきましては、市場の縮小傾向が続き国内生産量は減少いたしました。こうしたなか、主力製品であるMソーセージの販売数量の減少もあり、減収となりました。

機能性食品におきましては、高齢者向けソフト食「ソフミート」や「催事用和菓子」などの販売に注力したことにより、増収となりました。

これらにより、売上高は23億61百万円（前年同期比11.0%減少）、セグメント利益（営業利益）は64百万円（前年同期比34.0%減少）となりました。

畜産食品事業

ハム・ソーセージ等食肉加工品におきましては、国内生産量は低価格品を中心に増加いたしました。こうしたなか、ロースハムなど単味品の販売数量が減少し、減収となりました。

肉類におきましては、食肉相場が安値で推移するなか、豚肉、牛肉の国内生産量は増加いたしました。こうしたなか、採算性を重視した取引に努めた結果、販売数量が減少し、減収となりました。

調理食品におきましては、惣菜などの販売が好調に推移し、販売単価が上昇したことで、増収となりました。

これらにより、売上高は84億2百万円（前年同期比8.0%減少）となったものの、採算性重視の取り組みにより、セグメント利益（営業利益）は1億10百万円（前年同期比59.2%増加）となりました。

飼料事業

養魚用飼料におきましては、メーカー各社の価格競争が激しくなるなか、国内生産量は増加いたしました。こうしたなか、大口取引先を中心にハマチ用E P飼料の販売数量を伸ばしたものの、販売単価が下落したことで減収となりました。

水産物におきましては、ブリ加工品「うまかぶり」の販売数量の増加と、うなぎ相場の高騰により、増収となりました。

畜産用飼料におきましては、自社生産を中止した影響もあり、採卵用・ブロイラー用飼料などの販売数量が減少したことで、減収となりました。

畜産物におきましては、鶏肉「赤鶏さつま」の販売に注力したものの、鶏肉相場の低迷により、減収となりました。

これらにより、売上高は109億88百万円（前年同期比7.2%減少）となったものの、生産効率の改善などにより、セグメント利益（営業利益）は6億73百万円（前年同期比26.9%増加）となりました。

その他

その他の売上高は9億68百万円（前年同期比8.4%減少）、セグメント利益（営業利益）は70百万円（前年同期比26.1%減少）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間の資産合計は290億39百万円となり、前連結会計年度に比べ18億21百万円の増加となりました。

流動資産の増加（前連結会計年度比12億30百万円増加）は、主に現金及び預金が4億39百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が14億12百万円増加したことなどによるものです。

固定資産の増加（前連結会計年度比5億90百万円増加）は、主に投資有価証券が2億31百万円減少したものの、破産更生債権等が7億89百万円増加したことなどによるものです。

(負債及び純資産)

当第2四半期連結会計期間の負債合計は247億3百万円となり、前連結会計年度に比べ15億83百万円の増加となりました。

流動負債の増加（前連結会計年度比13億69百万円増加）は、主に買掛金が14億29百万円増加したことなどによるものです。

固定負債の増加（前連結会計年度比2億14百万円増加）は、主に長期借入金が3億59百万円増加したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間における純資産合計は43億35百万円となり、前連結会計年度に比べ2億37百万円の増加となりました。これは主に四半期純利益4億3百万円を計上したものの、その他有価証券評価差額金が1億57百万円減少したことなどによるものです。この結果、自己資本比率は13.2%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、財務活動によるキャッシュ・フローは増加したものの、営業活動によるキャッシュ・フロー、投資活動によるキャッシュ・フローの減少により、前連結会計年度末に比べ2億55百万円減少の24億94百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は63百万円（前年同期は57百万円の減少）となりました。これは主に仕入債務の増加額が16億11百万円、税金等調整前四半期純利益の計上が4億55百万円あったものの、売上債権の増加額が22億69百万円あったことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は4億67百万円（前年同期は2億4百万円の減少）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が4億34百万円あったことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は2億75百万円(前年同期は5億22百万円の増加)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出が9億19百万円あったものの、長期借入れによる収入が13億28百万円あったことなどによるものです。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた問題はありません。

なお、前有価証券報告書に記載した重要な課題について、その後の経過は以下のとおりです。

当社下関飼料工場における畜産用飼料の製造につきましては、本年6月をもって中止いたしました。

当社の欠損金の填補のための資本金および準備金の額の減少につきましては、平成24年6月25日開催の定時株主総会決議を経て、平成24年8月3日に効力が発生いたしました。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は2億64百万円です。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	200,000,000
計	200,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	89,100,000	89,100,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は1,000株です。
計	89,100,000	89,100,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年 8月 3日(注)		89,100	1,039,979	3,415,020	797,309	

(注) 資本金及び資本準備金の減少は、欠損金の填補のためのものです。(株主総会承認可決日 平成24年 6月25日)

(6) 【大株主の状況】

平成24年 9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
中部 緑	山口県下関市	7,274	8.16
株式会社マルハニチロホールディングス	東京都江東区豊洲三丁目 2 番20号	5,659	6.35
財団法人中部財団	山口県下関市大和町二丁目 4 番 8 号	4,032	4.52
三井物産株式会社 (常任代理人 資産管理サービス 信託銀行株式会社)	東京都千代田区大手町一丁目 2 番 1 号 (東京都中央区晴海一丁目 8 番12号)	3,753	4.21
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内一丁目 6 番 6 号	3,187	3.57
株式会社十八銀行	長崎県長崎市銅座町 1 番11号	2,530	2.83
株式会社損害保険ジャパン	東京都新宿区西新宿一丁目26番 1 号	2,208	2.47
株式会社山口銀行	山口県下関市竹崎町四丁目 2 番36号	1,574	1.76
三菱UFJ信託銀行株式会社 (常任代理人 日本マスタートラスト信託銀行株式会社)	東京都千代田区丸の内一丁目 4 番 5 号 (東京都港区浜松町二丁目11番 3 号)	1,298	1.45
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	東京都港区浜松町二丁目11番 3 号	1,109	1.24
計		32,624	36.61

(注) 財団法人中部財団は、当社元会長故中部利三郎氏の遺志により、主として当社株式を基本財産とし、山口県内における食品等の開発援助および社会福祉事業の助成等を目的として設立された法人です。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 57,000 (相互保有株式) 普通株式 10,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 88,858,000	88,857	
単元未満株式	普通株式 175,000		1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	89,100,000		
総株主の議決権		88,857	

- (注) 1 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式4,000株(議決権4個)が含まれております。
- 2 「完全議決権株式(その他)」の欄には、株主名簿上は当社名義となっておりますが、実質的には所有していない株式1,000株が含まれております。なお、当該株式については、議決権の数には含まれておりません。
- 3 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式326株が含まれております。

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 林兼産業株式会社	山口県下関市大和町 二丁目4番8号	57,000		57,000	0.06
(相互保有株式) 株式会社みなと	山口県下関市大和町 一丁目12番6号	10,000		10,000	0.01
計		67,000		67,000	0.07

- (注) 上記のほか、株主名簿上は当社名義となっておりますが、実質的には所有していない株式1,000株があります。なお、当該株式は [発行済株式] の「完全議決権株式(その他)」の欄の普通株式に含まれております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人大手門会計事務所により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,186,054	2,746,679
受取手形及び売掛金	2 4,800,806	2 6,213,597
商品及び製品	1,627,337	1,766,423
仕掛品	1,535,408	1,631,281
原材料及び貯蔵品	1,249,199	1,237,283
その他	238,842	318,387
貸倒引当金	140,983	186,760
流動資産合計	12,496,665	13,726,891
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,891,329	3,884,618
土地	4,655,628	4,652,994
その他(純額)	1,671,769	1,743,323
有形固定資産合計	10,218,728	10,280,936
無形固定資産		
投資その他の資産	66,982	59,878
破産更生債権等	2,884,274	3,673,939
その他	2,918,146	2,688,511
貸倒引当金	1,366,622	1,390,961
投資その他の資産合計	4,435,798	4,971,489
固定資産合計	14,721,509	15,312,304
資産合計	27,218,174	29,039,196
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,543,772	4,972,986
短期借入金	9,916,593	9,746,392
未払法人税等	61,483	50,955
賞与引当金	238,272	262,965
製品回収関連損失引当金	1,989	-
畜産用飼料製造中止損失引当金	173,000	170,046
その他	1,884,098	1,984,938
流動負債合計	15,819,208	17,188,285
固定負債		
長期借入金	4,735,303	5,094,854
退職給付引当金	1,639,321	1,634,756
資産除去債務	5,542	5,602
その他	921,353	780,447
固定負債合計	7,301,520	7,515,660
負債合計	23,120,729	24,703,945

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,455,000	3,415,020
資本剰余金	797,309	5,989
利益剰余金	1,833,357	398,171
自己株式	6,289	6,298
株主資本合計	3,412,661	3,812,883
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	186,450	29,345
為替換算調整勘定	-	57
その他の包括利益累計額合計	186,450	29,287
少数株主持分	498,331	493,080
純資産合計	4,097,444	4,335,250
負債純資産合計	27,218,174	29,039,196

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	24,684,401	22,722,292
売上原価	21,104,034	19,113,827
売上総利益	3,580,367	3,608,465
販売費及び一般管理費	3,378,730	3,219,559
営業利益	201,636	388,906
営業外収益		
その他	210,231	203,779
営業外収益合計	210,231	203,779
営業外費用		
支払利息	169,294	154,041
その他	36,655	39,904
営業外費用合計	205,950	193,946
経常利益	205,917	398,738
特別利益		
受取保険金	1,485	-
受取賠償金	-	70,179
その他	189	435
特別利益合計	1,674	70,614
特別損失		
固定資産廃棄損	1,348	7,661
減損損失	4,571	6,034
特別損失合計	5,919	13,695
税金等調整前四半期純利益	201,672	455,658
法人税、住民税及び事業税	52,105	41,379
法人税等調整額	4,005	1,840
法人税等合計	48,100	39,539
少数株主損益調整前四半期純利益	153,572	416,118
少数株主利益	24,802	12,775
四半期純利益	128,769	403,343

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	153,572	416,118
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	70,679	166,208
持分法適用会社に対する持分相当額	16	55
その他の包括利益合計	70,663	166,264
四半期包括利益	224,236	249,854
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	192,591	246,180
少数株主に係る四半期包括利益	31,644	3,674

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	201,672	455,658
減価償却費	348,902	361,408
減損損失	4,571	6,034
持分法による投資損益(は益)	20,862	25,726
有形固定資産廃棄損	1,348	7,661
貸倒引当金の増減額(は減少)	25,081	70,114
賞与引当金の増減額(は減少)	99,132	24,692
退職給付引当金の増減額(は減少)	67,455	4,565
受取利息及び受取配当金	44,639	41,705
受取賠償金	-	70,179
支払利息	169,294	154,041
売上債権の増減額(は増加)	1,604,025	2,269,787
たな卸資産の増減額(は増加)	5,145	223,042
仕入債務の増減額(は減少)	851,027	1,611,364
未払消費税等の増減額(は減少)	52,534	7,250
その他	61,504	34,083
小計	84,842	29,136
利息及び配当金の受取額	46,139	42,705
賠償金の受取額	-	70,179
利息の支払額	168,468	154,127
法人税等の支払額	20,458	51,093
営業活動によるキャッシュ・フロー	57,945	63,198
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	265,934	320,601
定期預金の払戻による収入	275,000	305,000
有形固定資産の取得による支出	220,671	434,124
無形固定資産の取得による支出	16,478	906
投資有価証券の取得による支出	2,769	2,831
その他	26,362	14,047
投資活動によるキャッシュ・フロー	204,491	467,511
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	310,000	20,000
長期借入れによる収入	1,969,574	1,328,000
長期借入金の返済による支出	1,045,914	919,544
リース債務の返済による支出	82,249	104,365
少数株主への配当金の支払額	8,920	8,920
その他	-	8
財務活動によるキャッシュ・フロー	522,490	275,161
現金及び現金同等物に係る換算差額	171	321
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	259,882	255,870
現金及び現金同等物の期首残高	1,845,977	2,749,880
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,105,860	2,494,009

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年9月30日)	
持分法適用の範囲の重要な変更	
第1四半期連結会計期間より、重要性が増したOMAKANE SDN. BHD. (非連結子会社) を持分法の適用の範囲に含めております。	

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対して、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)		当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
赤鷄農業協同組合	172,256千円	赤鷄農業協同組合	159,944千円
小豆屋水産株式会社	100,000	小豆屋水産株式会社	100,000
志布志飼料株式会社	83,165	志布志飼料株式会社	1,191
計	355,421		261,135

2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。なお、当第2四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形	83,029千円	105,379千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
貸倒引当金繰入額	28,650千円	69,357千円
賞与引当金繰入額	167,321	119,540
退職給付費用	98,557	102,211
発送・配達費	737,983	724,840

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりです。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)
現金及び預金	2,556,475千円	2,746,679千円
預入期間が 3 か月を超える 定期預金	251,469	252,670
当座借越	199,146	
現金及び現金同等物	2,105,860	2,494,009

(株主資本等関係)

前第 2 四半期連結累計期間(自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第 2 四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第 2 四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第 2 四半期連結累計期間(自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第 2 四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第 2 四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社の平成24年 6 月25日開催の定時株主総会において、「資本金および準備金の額の減少ならびに剰余金の処分の件」が承認可決され、平成24年 8 月 3 日にその効力が発生しました。これにより、資本金が1,039,979千円、資本剰余金が791,319千円それぞれ減少し、利益剰余金が1,831,299千円増加しました。

なお、株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	水産食品事業	畜産食品事業	飼料事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,653,191	9,132,744	11,841,112	23,627,048	1,057,353	24,684,401
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,367	57,751	716,741	780,861	208,706	989,567
計	2,659,559	9,190,495	12,557,854	24,407,910	1,266,059	25,673,969
セグメント利益	97,069	69,456	530,952	697,478	95,666	793,144

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、情報処理事業及び冷蔵倉庫事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	697,478
「その他」の区分の利益	95,666
セグメント間取引消去	454
全社費用(注)	591,962
四半期連結損益計算書の営業利益	201,636

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	水産食品事業	畜産食品事業	飼料事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,361,956	8,402,907	10,988,730	21,753,594	968,698	22,722,292
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,390	63,242	630,170	698,804	196,630	895,434
計	2,367,346	8,466,150	11,618,901	22,452,398	1,165,328	23,617,727
セグメント利益	64,113	110,545	673,595	848,253	70,707	918,961

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、情報処理事業及び冷蔵倉庫事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	848,253
「その他」の区分の利益	70,707
セグメント間取引消去	15,760
全社費用(注)	545,815
四半期連結損益計算書の営業利益	388,906

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引の四半期連結会計期間末の契約額等は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四期純利益金額	1円45銭	4円53銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	128,769	403,343
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	128,769	403,343
普通株式の期中平均株式数(千株)	89,040	89,039

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月12日

林兼産業株式会社
取締役会 御中

監査法人 大手門会計事務所

指定社員
業務執行社員 公認会計士 植木 暢 茂 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 武川 博 一 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 佐藤 裕 治 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている林兼産業株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、林兼産業株式会社及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。